



Photostud

THE TURQUOISE STAKES

第11回 ターコイズステークス (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 38,000,000円 15,000,000円 9,500,000円 5,700,000円 3,800,000円
付加賞 574,000円 164,000円 82,000円



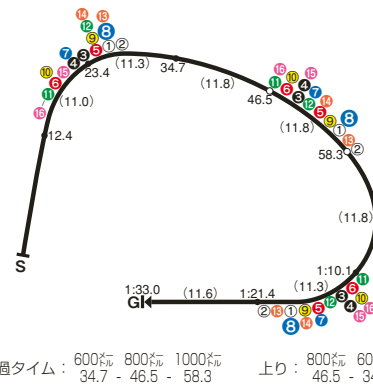
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

牝、3歳以上、2024.12.14以降2025.12.14まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 ハンデキャップ

2025.12.20 中山 曇・良 芝1600m (国産) (特指)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑧	ドロップオブライト	牝6	56	松若風馬	1:33.0	2-3-3	34.2	436(-12)	10.5⑤	福永祐一(栗東)	106
2	①	リラボニート	牝4	53	丹内祐次	アタマ	2-3-3	34.2	462(-4)	12.2⑥	須貝尚介(栗東)	99
3	⑤	ソルトクween	牝4	53	富田 暁	アタマ	5-6-7	33.9	440(-8)	15.9⑧	武 英智(栗東)	99
4	③	シングザットソング	牝5	55	斎藤 新	1½	9-10-10	34.0	450(+2)	31.7⑩	高野友和(栗東)	100
5	⑭	フィールシンパシー	牝6	53	菅原明弘	½	5-6-5	34.3	468(+4)	72.2⑭	小島茂之(美浦)	
6	⑪	カピリナ	牝4	56	横山典弘	ハナ	15-15-16	33.6	482(+2)	14.0③	田島俊明(美浦)	
7	②	スリールミニョン	牝3	53	永島まなみ	ハナ	1-1-1	35.1	452(-6)	15.9⑨	高橋康之(栗東)	
8	⑥	ホウオウラスカーズ	牝7	54	木幡巧也	アタマ	12-10-10	34.0	460(+2)	34.0⑫	高木 登(美浦)	
9	④	ジューンオレンジ	牝5	54	横山和生	ハナ	10-10-10	34.1	470(±0)	12.7⑦	長谷川浩大(栗東)	
10	⑩	ビップテイジー	牝3	54	西村淳也	クビ	5-5-5	34.4	434(-8)	8.6④	松下武士(栗東)	
11	⑦	ボンドガール	牝4	56	津村明秀	クビ	10-8-7	34.3	460(±0)	7.3③	手塚貴久(美浦)	
12	⑬	ウンブライル	牝5	55.5	Cルメール	¾	13-13-13	34.1	486(-6)	3.6①	木村哲也(美浦)	
13	⑫	チェルビアット	牝3	54	戸崎圭太	アタマ	16-15-13	33.8	488(+4)	5.8②	高野友和(栗東)	
14	⑮	ソーズスリング	牝5	55.5	横山武史	ハナ	2-2-2	35.1	472(+6)	59.7⑮	新谷功一(栗東)	
15	⑨	ランフォーヴァウ	牝3	53	小崎綾也	クビ	13-13-13	34.2	458(-2)	187.5⑯	福永祐一(栗東)	
16	⑫	キタウイング	牝5	50	嶋田純次	1¼	5-8-9	34.6	458(+8)	228.9⑰	小島茂之(美浦)	

単勝⑧1,050円(5¼) 複勝⑧350円(5¼) ①380円(6¼) ⑤540円(10¼) 枠連①-⑧1,510円(6¼)
馬連①-⑤5,840円(23¼) ワイド①-⑧1,930円(26¼) ⑤-⑧2,950円(44¼) ①-⑤2,570円(34¼)
馬単⑧-①10,840円(41¼) 3連複①-⑤-⑧25,530円(101¼) 3連単⑧-①-⑤143,360円(545¼)
5重勝④②⑥⑤⑧481,350円(502票) 対象競走：阪神10R／中山10R／中京11R／阪神11R／中山11R



通過タイム：600m 800m 1000m 上り：800m 600m
34.7 - 46.5 - 58.3 46.5 - 34.7

アラカルト

- ・松若風馬騎手はターコイズS初勝利。JRA重賞は25年2勝目、通算13勝目
- ・福永祐一調教師はターコイズS初勝利。JRA重賞は25年2勝目、通算4勝目
- ・トーセンラー産駒はJRA重賞通算5勝目
- ・6歳馬の勝利は初
- ・非抽選馬 2頭(エリーズダイヤ、ジョイフルニュース)

ドロップオブライト Drop of Light

牝 黒鹿毛 2019.3.14生
北海道新ひだか町 岡田スタッド生産
馬主・岡田牧雄氏 栗東・福永祐一厩舎
馬名意味・光の雫。母名より連想

スカールットインクUSA系 F4-d

トーセンラー 黒鹿毛 2008	ディーブインバウト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	プリンセスオリビアUSA 栗毛 1995	Lycius Dance Image
プレシャスドロップ 栗毛 2003	フレンチデピュティUSA 栗毛 1992	Deputy Minister Mitterand
	ザラストドロップ 栗毛 1995	ヤマニンスキー カーベディエム

5代までのインブリード： Lyphard S5×S5
Northern Dancer S5×M5×M5

INTERVIEW

岡田牧雄 代表(岡田スタッド)

大目標はヴィクトリアマイルです

福永調教師からきっちり仕上げたと聞いていたので体重減には驚きませんでした。それまで1200m戦でしか勝ち星がなかったのですが、9月の京成杯オータムHで2着に好走したことでマイルもいけるなと確信しました。今後の大目標はヴィクトリアマイルです。26年は7歳になりますがまだまだ走れると思いますので、このまま無事に、順調にいてほしいと思います。



K. Miura

たレースは平均ペースで進行。ドロップオブライトの松若風馬騎手は外から進出してきたソーダズリングを先に遣り、3番手で流れに乗る。ビップデ이는好位勢の直後につけ、ボンダガールとウンブライルは中団を追走。対してスタートで大きく立ち遅れてしまったチエルビアットは最後方で脚を溜め、反撃の機会を窺った。

快調に風を切ったスリルミニオンは直線半ばまで踏ん張ったが、坂の上りで失速。最内を突いたリラボニートとドロップオブライトがこれを挟撃する形で抜け出し、外から伸びてきたソルトクインも加わって、ゴール前は好位勢3頭の争いに。内外の両馬より3番手重ハンを背負っていたものの、一枚上の底力を発揮したドロップオブライトが横一線の接戦に競り勝った。

トーセンラー産駒の本馬は芝1200m以戦で実績を重ね、前年のCBC賞で重賞ウイナーの仲間入り。春に定年を迎えた松永昌博調教師から管理を受け継いだ福永祐一調教師に、初のタイトルを贈った経歴を持つ。その後はしばらく精彩を欠いたものの、連覇に挑んだCBC賞で小差の4着に食い込んで復調を示し、続く京成杯オータムHでは2着に好走。スプリングターフS(14着)を挟んで臨んだこの日は、マイルの距離でキャリア初の勝利を飾り、松若騎手に節目のJRA通算500勝をプレゼントした。

父トーセンラー

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央25戦4勝(マイルチャンピオンシップ^{G1}、京都記念^{G1}、きさらぎ賞^{G3}、天皇賞(春)^{G1}2着、京都記念^{G2}2着、セントライト記念^{G2}2着、小倉記念^{G2}2着、七夕賞^{G2}2着、菊花賞^{G1}3着)、15年から供用〔代表産駒〕ザダル(エプソムC^{G3}、京都金杯^{G3}、プリンシパルS・L)、ドロップオブライト(本馬)、キャンディード(中京2歳S^{G3})、アイラブテラー(淀短距離S・L、京阪杯^{G2}2着)、アケルナルスター(札幌日経オープン・L2着)

母プレシャスドロップ

北海道静内町 岡田スタッド生産 中央26戦1勝、障害1戦0勝
ベストドロップ(10 牡父トーセンダンス)中央6戦0勝、障害2戦0勝、地方90戦17勝
プレシャスムーン(11 牝父マツリダゴッホ)中央26戦1勝、障害8戦0勝、地方47戦12勝
プレシャスモトヒメ(12 牝父チチカステナゴFR)不出走
プレシャスエース(13 牡父マツリダゴッホ)中央30戦4勝(噴火湾特別)、地方36戦6勝(岩鷲賞、栗駒賞)
サンタアズライト(14 牝父マツリダゴッホ)中央15戦1勝、地方2戦0勝(15 牝父ナカヤマフェスタ)
ラルムエトワール(16 牝父スマートファルコン)中央4戦0勝、地方1戦0勝
テンキセンセキ(17 牝父キンシャサノキセキAUS)中央28戦3勝(おおぞら特別)、地方3戦0勝

ドロップオブライト 本馬(19 牝父トーセンラー)中央29戦6勝(ターコイズS^{G3}、CBC賞^{G3}、知立S、大濠特別、京成杯オータムH^{G3}2着、六甲S・L3着)獲得総賞金187,851,000円

ホウオウプレシャス(20 牡父イスラボニータ)中央15戦0勝、障害4戦1勝、地方14戦3勝 ⑧

ドロップオブレイ(22 牝父ウインブライト)中央3戦0勝(24 牡父ミッキーグローリー)

※18、21、23(不発胎)、25(前年種付せず)

祖母ザラストドロップ

北海道静内町 岡田スタッド生産 中央3勝(湘南特別)、17年用途変更
プレシャスドロップ(03 前出)
ヒシカツジェームス(07 牡父アグネスタキオン)中央4勝(汐留特別)
マルーンドロップ(11 牝父コンデユイトIRE)中央1勝(日田特別)、地方1勝、ヴェルミセル ⑧(京都大賞典^{G3}3着、ダイヤモンドS^{G3}3着)の母

マイルの舞台で新境地を開拓

牝馬のハンデ重賞・ターコイズSの1、2番人気を占めたのは、実績上位の5歳馬と未知の魅力を秘める3歳馬。2年前のNHKマイルCの2着馬ウンブライルが頭ひとつ抜けた支持を集め、春の3歳短距離重賞で好走を重ねたチエルビアットが対抗候補と目された。前年の秋華賞2着馬ボンダガール、阪神ジュベナイルフィリーズの2着馬ビップデ이가これに続いたものの、勝利の女神が微笑んだのは5番人気のドロップオブライト。トップタイの56kgを背負った6歳馬が新境地も開拓して重賞2勝目を挙げた。

軽快なダッシュで飛び出したスリルミニオンがスナナリと主導権を握った。前年の秋華賞2着馬ボンダガール、阪神ジュベナイルフィリーズの2着馬ビップデ이가これに続いたものの、勝利の女神が微笑んだのは5番人気のドロップオブライト。トップタイの56kgを背負った6歳馬が新境地も開拓して重賞2勝目を挙げた。

軽快なダッシュで飛び出したスリルミニオンがスナナリと主導権を握った。前年の秋華賞2着馬ボンダガール、阪神ジュベナイルフィリーズの2着馬ビップデ이가これに続いたものの、勝利の女神が微笑んだのは5番人気のドロップオブライト。トップタイの56kgを背負った6歳馬が新境地も開拓して重賞2勝目を挙げた。

軽快なダッシュで飛び出したスリルミニオンがスナナリと主導権を握った。前年の秋華賞2着馬ボンダガール、阪神ジュベナイルフィリーズの2着馬ビップデ이가これに続いたものの、勝利の女神が微笑んだのは5番人気のドロップオブライト。トップタイの56kgを背負った6歳馬が新境地も開拓して重賞2勝目を挙げた。